

2022年6月30日

第66期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急メンテナンスサービス

貸借対照表

(2022年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	2,408,512	(負債の部)	927,501
流動資産	2,288,058	流動負債	761,120
現金及び預金	2,124	未払金	505,703
売掛金	425,245	未払事業所税	1,759
貯蔵品	787	未払法人税等	51,408
短期貸付金	1,842,076	未払消費税等	23,684
前払費用	16,680	未払費用	98,878
仮出金	1,082	預り金	3,177
その他の資産	62	賞与引当金	76,334
		役員賞与引当金	152
固定資産	120,453	その他流動負債	20
有形固定資産	5,563		
建物附属設備	0	固定負債	166,380
車両及び運搬具	0	退職給付引当金	157,948
器具及び備品	5,563	役員退職慰労引当金	8,432
無形固定資産	4,663	(純資産の部)	1,481,011
ソフトウェア	4,663	株主資本	1,481,011
電話施設利用権	0	資本金	10,000
		資本剰余金	12,759
投資その他の資産	110,226	その他資本剰余金	12,759
投資有価証券	336	利益剰余金	1,458,251
差入保証金	28	利益準備金	2,500
繰延税金資産	109,862	その他利益剰余金	1,455,751
		別途積立金	201,160
		繰越利益剰余金	1,254,591
合 計	2,408,512	合 計	2,408,512

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
その他有価証券
市場価格のない株式等 移動平均法による原価法
 - (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品 最終仕入原価法
3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法
無形固定資産	定額法
4. 引当金の計上基準

賞与引当金	従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
役員賞与引当金	役員賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。
役員退職慰労引当金	役員及び執行役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。
5. 収益及び費用の計上基準

完成工事高の計上基準	当社は、総合ビルメンテナンス（設備・清掃・警備）業を行っており、約束した財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。 なお、顧客との契約における義務を履行するにつれて、顧客が便益を享受した時点で収益を認識しております。
	当期に着手した工事契約から当期末までの進捗部分において成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を適用し、その他の工事については工事完成基準を適用しております。
6. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

控除対象外消費税等の会計処理	控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。
----------------	----------------------------------

当期純損益金額

当期純利益	106,687千円
-------	-----------